

平成28年11月定例会市議会

行政報告要旨

総社市

本日、11月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせをいただき、ご出席くださいますこと誠にありがとうございます。

今議会で、再選を受けてちょうど1年を回ったところとなりました。公約といたしておりますグランドデザイン改革、そして、全国屈指の福祉先駆都市の実現のため、来年度当初予算での本格稼働に向けて、少しずつ色濃く箇所付けをまいります。今議会はそのプロローグとして、慎重でありつつも挑戦する心をもって、精一杯皆様方と議論を行ってまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(はじめに)

はじめに、チュッピーに関しまして、お礼とご報告を申し上げます。7月22日から始まったゆるキャラグランプリで、熱い選挙戦を繰り広げたチュッピーでございますが、全国1,421体のゆるキャラたちの中で、総合第3位となりました。議員や市民の皆様方をはじめ、全国の皆様から本当にたくさんの応援をいただきましたことに深く感謝いたします。

お約束したとおり、チュッピーはゆるキャラグランプリから引退し、また元の「子育て王国そうじゃ」のシンボルキャラクターとなって、総社っ子のもとへ戻ってまいります。

銅メダルではありましたが、総社が全国に発信され、チュッピーが子どもたちだけでなく、広く市民のチュッピーとして成長したことは、全国3位の効果であり、市民一丸となった取組みの大いなる成果であったと感じております。

また、3ヶ月余りに及ぶ選挙戦を通して、特に入庁1年目から4年目の、若手職員の成長を強く実感したことも大きな収穫であったと思います。

そしてこのたび、総社の風光明媚な観光地を散歩しているチュッピーの姿を写した来年のカレンダーを、市役所、サンロード吉備路などで、1部500円にて販売しておりますので、ぜひお買い求めください。

(市政報告・トピックス)

### 1) グランドデザイン改革について

それではまず、2大重要政策の1つでありますグランドデザイン改革でございますが、関連する事柄といたしまして、

防災に向けた取組みについて、ご報告させていただきます。

10月21日に発生した鳥取県中部地震では、総社市でも震度3の比較的強い揺れを観測しましたが、幸い被害は発生しておりません。鳥取県へは建築士の職員などを派遣し、援助活動を行ったところでございます。

また11月9日に、総社中央小学校に、総社環境観光大使の野口健さんが来総され、熊本地震の支援活動についてもご報告いただきました。さらに、11月20日には、総社北小学校で防災訓練を実施したところ、地域住民を始め、議員の皆様方や多くの方々にご参加をいただきまして、今回は新たにダンボールベッドを組み立てるなどの、避難所の設営訓練を実施し、単なるショーのひとつではない、本番さながらの訓練を行うことができました。

今なお発生している東日本大震災の余震に加え、近い将来、発生が懸念される南海トラフ巨大地震に備えて、防災意識も高まってきております。今後ますます防災対策を見据えた施策の重要性が求められることから、これまで、総社市の弱点であった市街地における道路網について、緊急時においても輸送経路を確保し、都市機能が充分発揮できるよう、

刑部三須線の整備を行うなど、本議会でも度々多くのご質問を受けてきた南北道の整備を進めてまいります。

道路網の整備は、日々の生活はもとより、経済活動に直結し、新たな道路ができると、周辺に人が集まり、企業立地等のニーズが生まれるというポテンシャルを秘めています。地の利を生かした、さらなる人口増対策や企業誘致を行うとともに、未来を見据えた、グランドデザインを描いてまいりたいと思います。

また、県立大学周辺に、新たな学園都市を誕生させてまいります。その延長線上にあるLRTをもって、街のあり方を変えていきたいと思えます。具体的には、立地適正化計画や地域公共交通網形成計画等を策定し、総社市全体のグランドデザインを描きながら、市街化区域の編入や、農振除外などの要件について、国や県とフレキシブルに協議を進めてまいります。

総社市の人口が増加する中で、新しい都市空間を持った戦略的な街に変わっていけるのか、大きな転換期だと思えますので、議員の皆様方とも充分議論しながら、実現に向けた歩みを加速していきたいと思えます。

## 2) 全国屈指の福祉先駆都市の実現に向けて

次に、2大重要政策のもう一方であります、全国屈指の福祉先駆都市の実現でございますが、「全国屈指」という言葉が、単なる政治家の合言葉や掛け声、キャッチフレーズに終わるのではなく、真の意味での「全国屈指」を目指してまいります。そのために、施策の各項目別に、具体的な数値目標を掲げて、職員一丸となって進めてまいります。

例えば、「障がい者千人雇用」でございますが、一つ一つコツコツと積み上げてまいりまして、最新の数字で、960人となりました。この分野に関しては、全国屈指であると自負しておりますので、引き続き、「屈指」という言葉にこだわりをもって、取り組んでまいりたいと思います。

(ひきこもり対策)

まず、全国屈指の福祉先駆都市の実現に向けた取組みの中で、来年度から新たにクローズアップしていこうとする施策が「ひきこもり対策」でございます。

ひきこもりについては、現在、市内に少なくとも207人の方がおられることが明らかになっておりますので、この方々が社会へ復帰していくために、地域と連携し、議員の皆様と

も議論を重ねながら、効果の出る体制となるべく、来年度当初予算に向けた準備を進めてまいります。

ひきこもり対策は、国においても、社会的問題として取り上げられており、非常に難解で多岐に渡り、これまで行政が不得意としてきた部分ですが、現行制度で対応できない方へ手を差し伸べる総社流の施策を作り上げ、このことこそが全国屈指につながるものと確信しております。

(高齢者雇用)

そして、並行的に「雇用」に関係してくる部分ですが、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちづくりを目指して、高齢者を就労に結び付けていくための窓口となる「そうじゃ60歳からの人生設計所」を、10月9日に開設いたしました。

現在までのところ、相談件数は225件に及ぶなど、大きな反響をいただいております、35名の方が登録し、5名の方が就職されております。

今後とも、就労する側と就労を受ける側のニーズにすばやく対応し、人材と仕事を有機的に結び付け、総社流の「生涯現役総活躍社会」を作り上げてまいりたいと思います。

(待機児童ゼロ)

次に、待機児童ゼロを目指した取組みについて、現在、来年度の保育希望の募集を行っているところでございますが、来年度から新設保育園が開設されること、また、改築建替えに伴う定員の増員などから、保育所の待機児童については解消されるものと思います。

しかし続けて、小学生、特に低学年の子どもたちの、放課後の居場所確保が問題となってまいります。今後、この問題につきましても、ハード、ソフトの両面から待機児童の解消に向けて取り組んでまいります。

(教育特区)

次に、教育特区でございますが、学区外から教育特区への転入園児童は、現在91人となり、包括協定を締結している大学の教授や学生が実際の授業に参加され、感性豊かな子どもたちと一緒に育てていただいております。

また、10月24日には、元大関 琴欧洲こと鳴戸親方が池田小学校を、10月25日には、世界で活躍するドラマー菅沼孝三さんが新本小学校を訪問し、子どもたちは、本物を肌で体感いたしました。10月31日には、青山学院大学の



三木義一学長が昭和小学校を訪問され、英語教育の重要性について再確認し、本日11月30日には、池田小学校の児童が、ファジアーノ岡山と総社北公園陸上競技場で交流しております。

来年度に向けて、教育特区は、特色ある教育で、魅力ある学校づくりを進め、さらに大きく広がるよう、できることはすべてやるといった意気込みで取り組んでまいります。

以上、「全国屈指の福祉先駆都市」の実現に向けた取組みについてご報告いたしました。が、「安心して地域の中で自分らしく暮らす」ためには、行政、家庭、個人の力では限界があるところまでできております。国のメニューに合致しないが、本当は困っている、生活に不具合があり社会から見放されているなどといった、いわば制度の狭間で苦しんでいる方々に対しまして、ともに力をあわせ、寄り添っていける仕組みをつくり、次なるステップへ進んでまいりたいと考えております。

### 3) 平成29年度体制づくり

私はこれまで、総社流の各種施策を実行することにより、自立する総社市の実現に向け、取り組んでまいりました。その結果、着実に人口増加を続けているこの流れを止めることなく、今後、さらに力強いものとするための体制づくりが必要であると感じております。

そこで、現在の副市長、政策監、総合政策部長の役割を整理し、それぞれの職責を生かして職務にまい進するため、平成29年度から、新たに常勤の特別職である「政策監」を設置することとし、今議会に条例の改正案を提案しているところでございます。

地方創生が叫ばれている中、本市においても総社流の地方創生を進めていくうえで、市の重要施策を、これまで以上にスピーディ、かつ円滑に実行する必要があることから、その推進役として、また、私や副市長を補佐し、地元調整や庁内全体を見回す役割を政策監に担っていただきたいと考えております。

#### 4) 赤米の日本遺産登録

次に、赤米の日本遺産登録でございますが、11月14日に長崎県対馬市で「赤米サミット」が開催され、対馬市、鹿児島県南種子町と協議を進めてまいりました。

また、16日には、総社赤米大使の相川七瀬さんを迎えて新本本庄国司神社の神田で、赤米の稲刈りを行い、18日には相川さんとともに、日本遺産登録の担当であります文化庁の藤江文化財部長を訪問し、赤米の歴史的魅力や特色について活発に意見交換をしたところでございます。

日本遺産登録については、いま最終作業に入っております。来年2月初旬の登録申請に向けて、今後、関係機関と協議をつめてまいります。

#### 5) ふるさと納税

次に、ふるさと納税でございますが、本日までの総納税額は6億7,428万円となっております。また、返礼品であります総社産米については、1万7,280俵の申込があり、11月7日に、返礼米第1便の出発式を行い、全国津々浦々の皆様に、総社のおいしいお米をお届けしたところで

ございます。また、このお米は、市内の水稲農家の皆様から、1俵あたり1万4,000円で買い取らせていただいております、農家支援につながっているものでもございます。

このふるさと納税で得られた純粋な利益の使い道でございしますが、ご寄附をいただいた中で、「何でも応援団」を選択された部分について、全国屈指の福祉先駆都市実現のための来年度の新規施策、及び拡充施策に充当したいと考えております。

### (市民へのお知らせ)

続きまして、3点、市民の皆様へお知らせをさせていただきたいと思っております。

#### (1) 「むかしなつかしの小学校ライスカレー」発売

まず1点目、市内の全15小学校で、昔給食で出されていたカレーの味を再現した、「むかしなつかしの小学校ライスカレー」を順次発売してまいります。第1段として、昔の校舎をパッケージデザインに採用した、総社小学校ライスカレーを発売いたします。

1 2月5日に、総社小学校において販売開始セレモニー  
を行いまして、市役所、サンロード吉備路のほか、市内  
スーパーの地食ベコーナーなどで販売いたしますので、  
昔を思い出しながらぜひご賞味ください。

## (2)「2017そうじゃ吉備路マラソン」出場者募集

続きまして2点目、来年2月26日に開催されます  
「そうじゃ吉備路マラソン」でございますが、市民マラソ  
ン参加人数で全国6位となっており、来年は今年の  
1万9,166人をさらに上回る、実走2万人を目標とし、  
ランナーを募集しております。現在7,300名の申込み  
をいただいておりますが、精一杯のおもてなしで、皆様を  
お迎えしたいと思っておりますので、奮ってご参加いただきませ  
ようお願いいたします。

## (3)「SOJAイルミネーション2016」開催

3点目、「SOJAイルミネーション2016」ござ  
います。今年は「ホッとする街そうじゃ」をテーマとし、  
12月5日から来年1月11日まで、市役所通りで点灯

いたします。また、12月17日土曜日には、年末の恒例となりました「こたつ100個ライブ」をホットに開催する準備を進めておりますので、皆様お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

### (9月議会での検討事項について)

ここで、先の9月議会での検討事項としたものについて、その結果を御報告させていただきます。

まず頓宮議員から、市役所内のIT化についてのご質問でございますが、今年度中に、職員用業務パソコンをインターネットに接続し、仕事の効率化を図ってまいります。

また、頓宮議員からの人材養成塾を開設してはどうかというご質問について、若い世代が市政に関心を持ち、自ら考え、実行できるよう、来年度から、若者人材育成事業を立ち上げたいと考えております。あわせて、市外の方へ総社を知ってもらう必要があります。近年、多くの視察を受け入れておりますので、視察後もその方々に総社を情報発信し、総社フレンズとなってもらうためのネットワークづくりの準備を進めてまいりたいと考えております。

次に、名木田議員から、倉敷ケーブルテレビの回覧板チャンネルで、定時に動画を放送してはどうかというご質問ですが、さっそく、平日午前10時と午後2時に、1時間程度の動画を放送することといたしました。

同じく名木田議員からご質問のございました、新総社大橋完成後の新設道路の夜間照明について、今年度中に、山本石油様から神在小学校西交差点付近まで設置することとし、現在地元と調整しております。また、神在小学校西交差点から南については、新給食センターの建設とあわせて検討していくこととしております。

次に、塩見議員から清音村誌の編さんの現況についてご質問をいただきましたが、平成29年度以降の体制づくりについて協議し、早急な完成を目指すこととしております。

次に、大熊議員からの、自由枠交付金制度のご質問について、3年に1度見直すこととしておりましたが、自主防災組織の単価（1世帯あたり200円）を見直す方向で、来年度当初予算に反映させるべく、準備を進めているところでございます。

また続けてご質問のございました、次の行政改革大綱の策定についてでございますが、第2次の実施状況を評価したうえで、今年度中に、第3次行政改革大綱を策定することとしております。

最後に、萱野議員から、預かり保育のエアコン設置についてご質問がございましたが、来年度、当初予算に計上する予定としております。

以上、私は市長に就任してから、障がい者政策、2次交通システム、農業政策、高齢者政策など、行政が不得意とする政策を得意技に変えていくことに没頭してまいりました。

引き続き、議員の皆様方とともに、総社市をどの分野においても、全国屈指と呼ばれるまちに変えていきたいと考えております。

今後とも、議員の皆様方におかれましては、一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。